

12 . 健康福祉部関係室の取組

12-1 健康福祉部 健康福祉総務室の取組

健康づくり（ヘルシーピープルみえ・21推進についての考え方）に関する考え方

健康福祉部職員の健康づくりについて、職場環境の整備等を通じて、職員の「健康づくり」への取り組みを支援していきます。

平成20年度からは、ユニバーサルデザインに関する業務が健康福祉総務室に移管されましたが、ユニバーサルデザインのまちづくりを推進することは、全ての人にとって行き来しやすく、住みよい安全なまちづくりを進めることであり、健康づくりにも適したものであるといえます。

平成21年度の取り組みと成果（健康福祉総務室）

- (1) 年休取得の促進、時間外勤務の縮減、事務の簡素・効率化を図り、職員の総勤務時間の縮減に取り組みました。
- (2) 所属長を中心として、サービス残業の解消に取り組みました。
- (3) 職員がほっとできる場所であるリフレッシュルームを整理整頓し、適正な管理に努めました。
- (4) 情報共有のためのメールマガジンの月2回発行、部長・局長と職員とのフリートークの開催などを通じて、職員満足度の向上のための組織風土の改善に努めました。
- (5) ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた啓発について、下記のとおり取り組みました。

ユニバーサルデザインの展開支援

ユニバーサルデザインの普及啓発、「まちづくり賞」の表彰、ユニバーサルデザインアドバイザーの養成（2回、59名）のほか、県内の小中学校や企業等に出前講座（学校22校、企業5社2団体）等を行い、ユニバーサルデザインのまちづくりの促進を図りました。

市町のまちづくり支援

市町におけるユニバーサルデザインのまちづくりを促進するため、伊賀市職員に研修を実施したほか、市町担当者会議を開催しました。

- (6) ユニバーサルデザインのまちづくりへの整備について、下記のとおり取り組みました。

ユニバーサルデザインのまちづくり整備

三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例に基づく公共的施設等の事前協議、適合証発行（138件）技術指導等を行い、ユニバーサルデザインのまちづくりを促進しました。

交通施設のバリアフリー化

鉄道駅のバリアフリー化を一層進めるため、鉄道事業者が行う駅舎へのエレベーター設置等に補助しました。平成21年度は、平成20年度2月補正及び21年度6月補正において予算措置した近鉄富田駅等での整備を進めました。

平成 22 年度の取り組み（事業計画）

- (1) 年休取得の促進、時間外勤務の縮減、事務の簡素・効率化をより一層進め、職員の総勤務時間の縮減に取り組みます。
- (2) 特に省エネデーの定時退庁を徹底するなど、時間外勤務の縮減に向けた取り組みを引き続き進めます。
- (3) 経営品質向上活動を通じて、明るく働きやすい職場環境の整備に努め、職員の心身両面での健康づくりを支援します。

(4) 「三重県ユニバーサルデザインのまちづくり次期推進計画」の策定

平成 19 年 7 月策定・公表の推進計画の進捗管理を行うとともに、平成 23 年度からを計画期間とする次期推進計画について、県民の皆さんや市町と意見交換等を行い、条例に基づき設置されている「ユニバーサルデザインのまちづくり推進協議会」のご意見をお聴きしながら、策定を進めます。

(5) ユニバーサルデザインのまちづくりに向けた啓発

ユニバーサルデザインの展開支援

ユニバーサルデザインの普及啓発、「まちづくり賞」の表彰、ユニバーサルデザインアドバイザーの養成、学校及び企業への出前講座等を行い、ユニバーサルデザインのまちづくりの促進を図ります。

市町のまちづくり支援

市町における住民との協働によるユニバーサルデザインのまちづくりを支援します。

(6) ユニバーサルデザインのまちづくりへの整備

ユニバーサルデザインのまちづくり整備

三重県ユニバーサルデザインのまちづくり推進条例に基づく公共的施設等の事前協議、適合証発行、指導等を行い、ユニバーサルデザインのまちづくりを促進します。

交通施設のバリアフリー化

平成 22 年度は、平成 21 年度から継続して 10 駅()でエレベーターの設置を進めます。これにより平成 22 年度末には、県内 23 駅でエレベーターが設置される予定です。

- (近鉄富田駅、塩浜駅、白子駅、津新町駅、伊勢市駅、桔梗が丘駅、川越富洲原駅、JR伊勢市駅、亀山駅、三岐富田駅)